

2017/6/4 札幌市民トライアスロン 参戦記

岡本 暢

1年半前、トライアスロンに興味をもってKTCの門を叩いたのに、準備や踏ん切りや気合いが足りなくて、ずっとマラソン専門部員と化していました(笑)がようやく念願の debut !

暖かい南国や、KTCのあれこれ頼れる(おんぶにだっこ作戦)仲間と一緒にのレースを初戦に。とも考えていま

したが、ああ…ここは北国北海道。初っぱなから輸行の手間やら移動の長さを考えたら…と二の足を踏んでしまい、「規模は小さいけど地元の大会に取り敢えず出よ」と言うことで、スプリントだけの小さな大会ではありますが挑んできました。

札幌市民トライアスロン。スイムは市営プール、バイクとランは都市公園。天候不純で大会当日は雨。更に6月やと言うのに気温7℃。地域によってはなんと雪予報。そんな中、何の間違いか…初戦の緊張感を更に煽るかのようにレースナンバー「1」を頂戴してのプールでのスイムは、長水路を8往復の800m。全部で9コース使い、1コース辺りに5~6名程およその泳力別に団子状態で同時スタート。それを2グループに分けて行います。



スイムはトレーニングを始めたのが今年の2月下旬。距離こそミドルはこなせる位泳げる様になりましたが、スピードが思うように伸びないのが悩みのタネ。不安だけ抱えて入水。初めての「生ファ～」で一斉スタート。押し合いへし合い、乗っかり乗っかられ。コースロープあるから横には逃げられないし。最初の100mくらいまでは緊張感もあって上手く泳げませんでしたけど、次第に調子も出てきて、集団で泳ぐ影響がプラスされてか、はたまたレース特有のアドレナリンが出たのか、終わって見ればトレーニング中でも出せなかった自己ベストでコース内2番目にスイムアップ。

「ナンバー1番、岡本選手…GO!」



審判員からコールを受け、気温 7°C の雨降る中、裸足でバイクへと走ります。冷たい冷たい。スイム会場と場所が離れている為、トランジションからスイムの持ちタイム順に審判員の指示の元仕切り直しのローカルルール。この時点でトップ選手とは既に 6 分差。バイクは公園内の散策路を使い一周 2.3km 程を 9 周回。上位選手が次々に 2 周目、3 周目突入。寒過ぎて、ウインドブレーカー羽織ってる選手の多いこと！トライジャージは数える程。実際僕も悩みましたが、KTC の広告塔も兼ねてるからここは気合いで乗り切る決意を(笑)



コースは狭いし、直角コーナーが 5ヶ所程、途中 100m 程の激坂、更にコーナーの要所要所に石畳…路面が濡れて滑りそうで突っ込めない…と、言い訳しながらも数少ない直線や緩やかなカーブなど回せるところは目一杯回す。かなり抜いたつもりでしたが、周回遅れの選手も混ざっており、実数はわからず。けど、抜けるだけ抜きました。周回数カウントしながら、ぐるぐるぐるぐる…バターになりそうになったところでバイクアップ。

最後は得意のラン。勢いよく駆け出すも、バイクでつま先冷え過ぎたのか脚に力が入りません。ふわふわした感覚のまま、片道 1.25km のコースを 2 往復。思った様なペースを保てなかったけど、最後はスパートかけてフィニッシュテープを切りました。

100 名に充たない参加者中、総合 27 位/成人男子 23 位。スイム終えた時点で 46 位。中身も記録も全く納得は行かない中、最終的に順位は上げたけど、トップ選手とのタイム差は 6 分と縮まらず。全般的に遅いけど、スイムをもっと磨かないと話にならない…と改めて痛感しました。2 回のトランジションで合計 3 分近くのおんびりお茶してたので、今回はレース終わってからにします(笑)



課題だらけの初トラでしたが、僕にとっては大きな一歩。ようやくスタートラインに立てました。7 月はこちらも初 OD。気合い十分これからも精力的に挑んでいきます！